

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立西吉野中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

大塔中学校と合わせて生徒数が47名という小規模の学校である。生徒は全体的に真面目で指示されたことはきっちりこなしていくが積極性に欠ける点が課題である。そこで地場産業である柿の栽培・収穫・販売や伝統芸能継承の体験活動、また校区の歴史の学習の中で地域の方をボランティア講師として招いて指導を仰いだ。いろいろな場面での交流は生徒のコミュニケーション能力を高めると共に地域の一員であることの自覚を育むことに繋げていきたい。そして学校生活全般に於いて積極性が出てくることを期待している。

2 取組の概要

○柿の栽培・収穫・販売

年間を通して全校・学級・園芸委員会・希望者と取り組む形は違うが、地場産業の柿に関する体験（1月の剪定に始まり、摘蕾、摘果、収穫、選果、販売）を行った。



柿の収穫



販売体験

○伝統食づくり

西吉野町に伝わる「柿の葉寿司」や「梅干し」づくりを行った。保存食として伝わってきたが現在では家庭で作ることが少なくなっている。当日は保護者にも呼びかけ一緒に楽しく作ることができた。



柿の葉寿司づくり

○西吉野音頭・大塔音頭の練習

西吉野・大塔両町に伝わる「盆踊り」を練習した。そして体育大会・文化祭で生徒・職員が地域の方と一緒に踊った。



西吉野音頭の練習

○生け花教室

地域で栽培されている花木を使い、生け花教室を実施した。ボランティア講師の方に教えていただきながら生けていった。卒業式に在校生から卒業生への餞として教室に飾った。

○地域の歴史学習

南朝にまつわる歴史的に由緒ある地域であるが、今まで学習する機会が無かった。元西吉野村教育長さんに来ていただきお話を伺った。また時間を作りもう少し深く学習したい。